

熊本地震からの創造的復興への「軌跡」

～全国のNN技術職員の皆様へ 感謝の気持ちを込めて～

【目次】

- 復旧・復興トピックス（令和元年度第2四半期）
- 派遣職員からのたより



第10号 令和元年（2019年）

9月30日発行

復旧・復興トピックス（令和元年度第2四半期）

9月4日（水曜日）

2019年度農業農村工学会「地域貢献賞」を受賞

公益社団法人農業農村工学会が定める、「2019年度農業農村工学会 地域貢献賞」に熊本県農林水産部が選ばれ、去る9月4日（水曜日）、農業農村工学会大会（東京農工大学府中キャンパス）で表彰式が行われました。

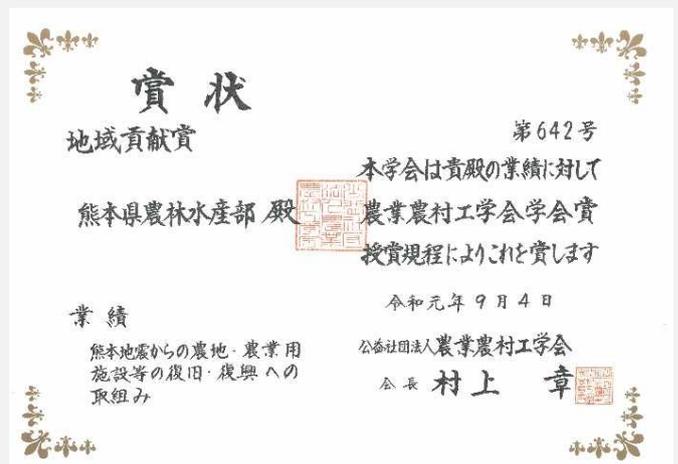
この賞は、平成18年度（2006年度）に農村地域社会の発展・活性化に貢献した個人または組織・団体を表彰するために創設されたもので、これまでに11個人・団体が受賞されています。

主に次の業績が認められ、地域貢献賞を受賞させていただきました。

- （1）平成28年4月に発生した熊本地震において、ため池等被害への緊急対策や水路等の応急復旧を直ちに進め、多くの地域で早期の営農再開を果たし、多くの農業者に希望を与えた。
- （2）地割れや陥没が大規模に発生した地域では、農地を元に戻す災害復旧ではなく、農地の大区画化、汎用化、担い手への農地集積を図る「創造的復興」に取り組み、被災地を競争力の高い農業地域に変える新たな復旧復興モデルを提示した。
- （3）水路復旧等に関する技術的な課題に土地改良区や国と連携して取り組み、その成果を取りまとめて公表した。

これまで本県に派遣され、災害復旧業務に携わっていただいた皆様や、その派遣元の道府県等の皆様のご支援・ご協力があったることと改めて深く感謝するとともに、この賞をステップに更に取り組みで参ります。

引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



7月24日（水曜日）

「熊本地震デジタルアーカイブ」の掲載写真が10万点を突破

南海トラフ地震をはじめ、今後、大きな地震がいつどこで起きてもおかしくない状況にあるとの認識のもと、平成28年熊本地震の経験を教訓として、国民全体で共有し、今後の災害に活かす必要があるため、被害の実情や復旧・復興の過程で得たノウハウ、教訓等を記録、整理、蓄積し、後世に遺していくことが重要です。

そのため、熊本県では震災遺構を保存・活用するとともに、拠点等において平成28年熊本地震の記憶や経験、教訓を発信し、後世に伝える震災ミュージアムの実現に向けた取り組み及びデジタルアーカイブに取り組んでいます。

今回、「熊本地震デジタルアーカイブ」事業についてご紹介します。

1 概要

デジタルアーカイブ事業は、市町村等から平成28年熊本地震関連資料（写真、映像、文書等）を収集、整理のうえ保存し、被害の実情や復旧・復興の過程について専用ウェブサイトで公開し、一部写真等はダウンロードし二次利用可能。

（令和2年度（2020年度）までに約20万点を収集し順次公開）

なお、本年7月24日時点で、専用ウェブサイトでの掲載写真が10万点を突破。

今後も資料収集を進め、災害対策や防災教育に活かすこととしております。

2 掲載アドレス

<https://www.kumamoto-archive.jp/>



3 掲載されている主な写真 ※ダウンロード可能なもの

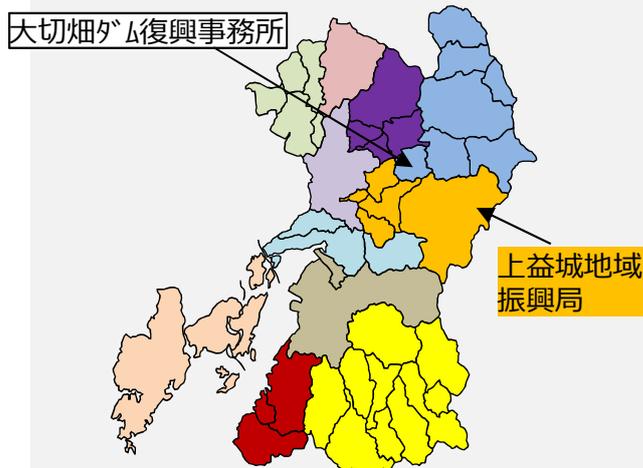
阿蘇大橋周辺 2016年04月時点



熊本城天守閣（東側） 2019年05月時点



令和元年（2019年）9月末現在、5名の派遣職員の皆様が関係出先機関に勤務されています。今回は、上益城地域振興局に派遣されている2名の方からコメントをいただきました。



派遣場所	派遣人数（派遣元県名）
大切畑がム復興事務所	3人（宮崎県1名、鹿児島県2名）
上益城地域振興局	2人（岐阜県1名、兵庫県1名）
計	5人

藤井 孝和さん（写真中央奥）

派遣元所属：岐阜県農政部農政課
派遣先所属：上益城地域振興局農林部農地整備課



<現在の業務内容について>

- ・益城町災害復旧受託事業
- ・県営災害復旧事業（砥川地区）

<職場（仕事）環境について>

風通しの良い職場です。困ったことがあっても、すぐに相談できるため、大変助けられています。

また、昨年度は庁舎改修により、騒音の中での業務でしたが、今年は改修を終えた執務室に移動したため、非常に快適な空間で執務しています。

<衣食住の環境について（いい点、悪い点など）>

熊本市内に宿舎があり、徒歩圏内にいろいろなお店があるため、買い物・食事に困ることはありません。あと、飲み屋もあるため、仕事終わりの一杯も楽しめます。

<今後、派遣で熊本県へ来られる方へのコメント>

熊本県の復旧・復興に向けた取り組みや、ここでの業務経験は、今後の職務に活かせるところが多くあるものと思います。

尾崎 展一さん

派遣元所属：兵庫県淡路県民局
洲本土地改良事務所農村計画第2課
派遣先所属：上益城地域振興局農林部農地整備課



<現在の業務内容について>

- ・益城町災害復旧受託事業
- ・御船町災害復旧事業に関する補助金事務、各種支援

<職場（仕事）環境について>

庁舎そのものは、耐震補強工事の真っ最中ですが、農地整備課が入っているフロアは、工事も完了し、広々とした中で仕事をさせてもらっています。事務的などが兵庫県と大きく違いますが、日々熊本県のみなさんにいろいろ教わりながら、仕事を進めています。

<衣食住の環境について（いい点、悪い点など）>

住まいは熊本市内に借りて頂いており、職場まで車で30分程度と、3月まで明石海峡大橋を通りながら1時間半、車で通勤していたことを考えると天国です。20数年ぶりに独身生活となり、日々の食事に毎日苦労していますが、楽しく過ごしています。

<今後、派遣で熊本県へ来られる方へのコメント>

熊本地震発生から3年がたち、いろんなところの復旧は進んできていますが、まだまだ、目に見えないところで皆さんの応援が必要なおところがたくさんあるのかなと思います。その復興に手助けを頂きながら、熊本にはとても素敵な観光地や温泉地がたくさんあります。ぜひ、そういったところに足を延ばしていただき、熊本のいいところの情報発信をしてください。

これまで、県関係の本庁及び関係出先機関に勤務されている方々にコメントをいただけてきましたが、今回は県内の市町村で勤務されている県・市職員3名の方にもコメントをいただきました。



庄 栄一郎さん

派遣元所属: 山口県山口農林水産事務所農村整備部
派遣先所属: 御船町農業振興課

<現在の業務内容について>

御船町における団体営災害復旧事業に関する支援（計画変更（重変）事務手続き等）

<職場(仕事)環境について>

計変（重変）地区は中山間地で道も狭い上に藪を掻き分けてやっとたどり着く現場が多い。現場で「ダニ」に咬まれた職員もあり、現場では特に「ダニ」と「マムシ」に注意している。しかし全幅2m足らずの未舗装の狭い山道の悪路の先に「ポツンと一軒家」のように耕作されている農地をみつけた時は感動もの。

<今後、派遣で熊本県や御船町へ来られる方へのコメント>

「面白きこともなき世を面白く棲みなすものは心なりけり」（高杉晋作の辞世の句）。どんな職場環境や条件も自分自身の心の持ち様であり、捉え方次第。

また、熊本の人、自然、歴史、そして夜の2時3時まで沢山の老若男女で溢れ活気のある熊本の街。その素晴らしさにすっかり魅了された。令和元年災の大雨で、せっかく復旧した農地がまた崩れたところもある。1日でも早い熊本地震からの創造的復興を心より祈念しています。



今崎 真也さん

派遣元所属: 長崎県県北振興局農林部土地改良課
派遣先所属: 益城町復旧事業課

<現在の業務内容について>

益城町における平成28年熊本地震災害に係る農地・農業用施設等復旧事業の工事発注及び現場監督業務と計画変更手続き等

<職場(仕事)環境について>

現場が役場から10分~15分と近く、電話で話すより現場に行って話したほうが早く便利です。

仮設庁舎の横で工事が行われており、重機が動くたびに地震ではないかと思うほど揺れることがしばしば。

<今後、派遣で熊本県や益城町へ来られる方へのコメント>

農地等の災害復旧事業も、もうすぐ完了が見えてきました。しかし、緊急性の高い復旧箇所は終わりが見えてきたものの、今後は復旧から復興へ移り変わる変動の時です。これからは、周囲の細かい部分への配慮が必要となり、地域住民の目線にたった事業の推進が必要になります。

被災前より住みやすい地域を目指し、より良い復興に向けて頑張りましょう。



藤原 康幸さん

派遣元所属: 宮崎市総務部人事課
派遣先所属: 益城町復旧事業課

<現在の業務内容について>

益城町における平成28年熊本地震災害に係る農地・農業用施設等復旧事業の工事発注及び現場監督業務と計画変更手続き等

<職場(仕事)環境について>

昨年1年間は阿蘇市の農政課で同じく農地・農業用施設等の災害復旧に携わっておりました。益城町は阿蘇市に比べ現場までの距離が短く短時間で行けるので助かります。ただ、阿蘇市よりも暑く大変な時があります。

復旧事業課は、復旧工事に特化した課であり、益城町の職員が少なく次年度以降何も問題が起きないか心配な面があります。

<衣食住の環境について>

住居は、役場まで車で10分程の益城町町内のレオパレスより通勤しており、益城熊本インターに近く帰庁報告時の公共交通（高速バス）へのアクセスも良く特に不自由な面もなく過ごしています。

<今後、派遣で熊本県や益城町へ来られる方へのコメント>

震災より4年目となり、本年度は復旧工事が完了となりますが、来年度以降の復興について、派遣職員等は相当に削減されることが予想されるため町の職員の活躍を祈るばかりです。